

会 議 要 旨 書

会議名	第 22 期三鷹市立図書館協議会 第 15 回定例会
日 時	令和 7 年 5 月 15 日（木）午後 2 時
場 所	三鷹市立三鷹図書館（本館）第 1 集会室
出席委員 （11 人）	青柳英治 阿萬昭次 岩橋達行 風間恵子 倉田清子 小谷奈保子 下山佳那子 土屋菜々 松田秀穂 間部豊（敬称略）
行政職員 （5 人）	三鷹市立三鷹図書館館長 立仙由紀子 図書サービス係長 池上真理子 管理係長 榛沢孝 同係主事 岩崎祐美 同係主事 小坪英希子
会議の公開・非公開	公開
傍聴人数	0 人
【議事】 1 前回の協議内容の確認について 2 行政報告 3 利用者アンケートについて	2 か所修正有 事務局 「一般報告行事実績等・行事予定等報告」に沿って報告 事務局 「三鷹市立図書館の基本的運営方針に基づく点検評価(案)」に沿って報告 （点検評価について） A 委員 図書館利用状況について、「図書館資料が増えた一方で貸出点数・予約点数が減った」とありますが、これを客観的に数値のみを見ると「魅力的な本が増えていないため、貸し出しに結びついていない」と読み取れますが、図書館としてこの原因をどう捉えて、どう今後の取り組みに対策を講じていらっしゃるのでしょうか。的確な言及が求められると考えられます。 事務局 現在分析中ですが、ご指摘のとおりだと考えています。 B 委員 よく貸し出されている本や利用されている資料を分析し、今後の選書時の参考にするとよいでしょう。 C 委員 入館者数が微増しているのは、本を借りることなくイベント等で滞在する人が増えているとも捉えられるのでしょうか。 事務局 お見込みの通りです。 B 委員 座席利用者数は数えていますか。 事務局 座席は自由に利用できるようにしているため統計等はとっていません。 B 委員 入館者数の増加とイベント参加者数や座席利用者数との相関性を分析するのも良いかもしれません。 事務局 検討します。 B 委員 計測期間を設けたり、曜日や時間を考慮して定点観測を行うこともできます。図書館として座席利用をどう伸ばしたいかにもよりますので、内部で検討していただければと思います。 B 委員 数値目標に対する点検・評価の事業評価部分について、評価段階

	が S・A・B・C とありますが、「〇%であれば A」といった具体的な評価基準はありますか。基準を設けないと客観性に欠けてしまうと考えますが。 事務局 令和 6 年度より「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づく点検及び評価」と一体的に実施しており、こちらの基準では、「達成度 S:100%超、A:90～100%、B:70%～90%未 満、C:70%未満または取組方針変更等」と設定されているため、同様の考え方で評価しました。 B 委員 その他、気づいた点等があれば、会議後、事務局へ意見を寄せてください。 (利用者アンケートについて) D 委員 巡回文庫の利用者数は多いように感じますが、記入式アンケートの回答数が 0 であるのは残念です。アンケートについてどう周知したのでしょうか。巡回文庫の利用者がアンケートに回答していれば、巡回文庫への評価が反映されたのではないかと感じます。 事務局 巡回文庫の具体的な実施方法について改めて確認いたします。 A 委員 アンケートの回収件数は 587 件とありますが、全体の配布枚数はどのくらいでしょうか。回収率については必ずしも出す必要はありませんが、どのくらいの人意見が反映されているのかに関わるため、配布枚数については把握すべき数値と考えます。 事務局 配布枚数は具体的に把握していませんでした。検討します。 B 委員 回答率を把握することにつながるでしょうか。 A 委員 参考程度にはなりますが、把握しておくと思いいます。 E 委員 回答方法についてですが、記入式が少ないと感じました。WEB と記入式の比率を教えてください。昨年からの変化はありますか。 事務局 当初は記入式のみでしたが、WEB の回答方式は昨年度から採用しています。経年変化については確認いたします。 F 委員 アンケートは 1 人が何度も回答できる可能性はありますか。 事務局 あります。 F 委員 結果として出てきた数字がどのくらい意味を持つのか気になっています。例えば、一人一回答にする仕組みがあるとさらに良いと思います。 B 委員 個人が特定されないような方法を検討していただければと思います。 C 委員 途中で回答をやめた人は回答として有効になりますか。 事務局 回答したところまでを有効回答としています。 D 委員 今回、西部図書館の利用者のアンケート回答数が多くなっていることが気になります。意識を持った方が多く来館されたのだと思いますが、F 委員 の発言のように、誰か特定の人が何度も回答しているのではないかと疑ってしまいます。 B 委員 結果を見て、極端な外れ値がなければ不正的な操作はされていないと捉えても良いと思います。アンケートを実施する限り、この課題を払拭することはできませんが、できる限り検討しても良いと考えます。 事務局 次回に向けて検討いたします。 A 委員 障がい者サービスについて、知らない人が多いとコメントがありましたが、回答者には障がいの有無にかかわらず尋ねているのでしょうか。
--	--

	事務局 お見込みの通りです。 A 委員 当事者ではない方からすると障がい者サービス自体を知らない可能性が高いと思います。質問の仕方は難しいですが、できるのであれば、障がいを持っている方・持っていない方を分けた上で質問をするという方法も考えられます。障がいを持っている方のうち、サービスを知らない方が多いのであれば積極的に周知する必要があり、障がいを持っていない方のうち、サービスについて知っている方に満足度を聞くのは、判断が難しいように思います。より丁寧に聞くことができるとうもう少し実情把握ができると思います。
	アンケート「問5 図書館資料の満足度を教えてください」とありますが、「満足度」ではなく「認知度」ではないでしょうか。また、利用率100%を超えている部分がありますが、どういう意図でしょうか。
事務局	※印にて「利用率＝知っている÷利用したことがある。本館の一般図書『知っている』回答数より『利用したことがある』回答数が多いのは紙での回答で無回答となっていたため。おそらく回答し忘れたと推測される。」と補足しています。
E 委員	字のそばに※をつけるとリンクしやすいと思います。
事務局	検討いたします。
F 委員	アンケートは日本語のみでの実施ですか。外国語図書の満足度が低かったことについて、外国語図書が語学の学習用として用意されているのか、多文化サービスとして用意されているのかにもよりますが、もしかしたら回答できなかった外国人の利用者がいたのではないかと気になります。
B 委員	図書館として対応できる範囲で、外国人利用者の割合を調査し、どういう目的で図書を置いているのかを検討しても良いと思います。
D 委員	いつも「三鷹区市立図書館は外国語図書が少ない」と話題になりますが、一方でこのアンケート結果では満足度の数値が高いため、外国語図書はこれ以上不要ではないかと捉えられてしまいます。外国人利用者がアンケートに回答できているか不明ですが、日本語のみのアンケートの実施であったことを考慮すると、数値のみで安直に捉えられないようにしたいです。注釈等どう表現したら良いでしょうか。
B 委員	そもそも外国語の本はどういう意図・基準で置いているのでしょうか。
事務局	当初は日本人が外国語の図書を読む目的で置いていましたが、近年外国人利用者が増えており、ニーズの多様化を実感していますが、分析に至っていません。多読の講習会やアンケートを通して、関心が大きくなっていることは感じているところです。
B 委員	ニーズがどこにあるのかをはっきり分析し、なるべく置いてある本とのギャップが出ないようにしてください。 また、A 委員の発言に同じく、障がい者サービスの部分については調査設計を検討していただき、加えて、回答者本人は障がいも持っていないなくても身近にサービスを必要とする人がいるかもしれませんので、誰もが手に取れる形で周知するのが望ましいでしょう。視覚障がい者の方に広く知ってもらうため、広報を通して具体的に情報提供したり、市で把握している情報を利用して個別に案内したりすることは可能でしょうか。
事務局	個別へのご案内は個人情報のため難しいですが、当事者が集まる

4 学校図書館との連携にかかる調査(案)について	F 委員	場で周知することは可能だと思います。
	事務局	三鷹市の図書館には「りんごの棚」はありますか。周知はしていますか。(りんごの棚とは、スウェーデンで生まれた「特別なニーズのある子供たちのための資料を展示した棚」で、すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうことを目的に、展示資料、さわる絵本、録音資料などさまざまな資料が置かれる棚のこと。【2022 年度 公立図書館における読書バリアフリーに関する報告書】より)
	D 委員	「ユニバーサルデザイン図書」としてあります。「広報みたか」や「みたかの教育」(三鷹市教育委員会が年 4 回発行)にて周知したことがあります。(ユニバーサルデザインとは、高齢者や障害のある人も、もちろん健常者も共通に使いやすく設計された意匠のこと。【カタカナ外来語 ABC 略語辞典(第 6 版)】より)
	事務局	「参考資料を利用したことがありますか」という問いに対して「いいえ」という回答が多くありますが、これについて長らく言われていますが、資料室の運営について具体的にどう検討していますか。
	D 委員	以前から職員間で検討しており、入口に配置する資料などの配置に工夫をしていますが、防犯対策の面を考慮すると、それ以上の具体的な実施につながっていません。何か良い案はありますか。
	事務局	別の図書館で目につくところに「地域情報」コーナーを設置し、「詳しくは資料室へ」と誘導しているのを見ました。
	B 委員	D 委員の発言のように、資料室の魅力を具体的に発信し、資料室の敷居を少しでも低くする工夫を検討していけたらと思います。
	事務局	「資料室がどのようなことができるか分からない」という状況がある上に、「防犯上敷居が高い」というイメージがあるかと思うので、「レファレンスサービスの具体例」をポスターのようにして、見やすいところに掲示するのも良いかもしれません。
	事務局	「学校図書館との連携にかかる調査(案)について」に沿って説明
	B 委員	調査の回答期限の時期はいつ頃ですか。
	事務局	6 月に配布して、7 月に回収できればと考えています。
	D 委員	この調査の実施について教育委員会には共有されていますか。
	事務局	整い次第、共有する予定です。
	松田委員	委員の改選時には、この内容を次の委員に共有することが良いでしょうか。
	事務局	簡単に引き継いでいただけると助かりますが、事務局からも改めて説明させていただきます。
	B 委員	調査の手段はメールになるのでしょうか。データでも送付する場合は、依頼文に「こちらからダウンロードしてください」という案内があると良いですね。また、調査票に見出しを付けると良いでしょう。
	事務局	検討します。
	B 委員	選択肢の改行に不備がある箇所があるので、訂正をお願いします。また、「一体的」の部分など、捉え方に相違がないように、全体的に言葉の補足説明があると良いですね。「公共図書館と学校図書館の統合について検討したことはありますか。」の選択肢に「今後検討してみる」という選択肢を設け、さらに「今後検討するとしたら、どういったことが知りたいか」という問いも設けると良いでしょう。
	A 委員	見やすさの観点から、調査票は Word での作成が望ましいです。全体的にかなり細かい部分まで質問しており、回答者が詳細を把握

6 その他	していない可能性もあり、答え方が分からなくなるかもしれません。調査目的ともリンクしてくるのですが、質問する内容と量、活用方法をしっかり整理する方が良いと思います。回答率にも影響すると思います。 項目3「人的体制について」の「月額」とはどういう意味ですか。また、職員の数を聞いていますが、非正規職員のカウント方法は状況に応じて異なるのではないのでしょうか。聞きたい内容を明確にして、項目数を絞ると良いと思います。 事務局 会計年度任用職員のうち、月額で雇用している職員、時間額で雇用している職員を示しています。 B 委員 A 委員の発言のとおり、改めて調査目的を整理する余地があると思います。 C 委員 図書館が複数ある自治体では、回答方法が難しくならないのでしょうか。 A 委員 一体的に運営している図書館をあらかじめ把握して、回答を依頼する方が、回答する側も混乱が少ないと思います。 事務局 調査目的や内容を改めて整理します。 F 委員 「公共図書館」と「公立図書館」の用語を統一した方が分かりやすいと思います。 ・三鷹市生涯学習審議会の委員選出について ・今期の振り返りや次期の開催頻度についての意見があれば5月末までにメールにてご意見を事務局へ 次回 6月19日(木)14時～
--------------	--